

総括質問

今定例会では、12人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

議長ダイアリー

平塚市議会議員
山原 栄一



議長の出席した主な会議などをお知らせします。(2月~4月)

- 2月1日 湘南地方市議会議長会
- 2月2日 全国市議会議長会地方財政委員会
- 2月8日 都市行政問題研究会総会
- 3月22日 平塚商工会議所通常議員総会
- 3月25日 ひらつか市民スポーツフェスティバル開会式
- 4月23日 神奈川県市議会議長会定例会
- 4月24日 関東市議会議長会定期総会

清風クラブ



夢ある未来平塚を創る

片倉 章博 議員

海岸エリア魅力アップチャレンジ

問 龍城ヶ丘ゾーン公園整備事業の民間事業者の公募や選定、津波避難施設設置に向けた設計業務のスケジュールについて伺う。

企画政策部長 夏頃に公募し、外部識者による選定委員会の審議を経て事業者を選定し、平成30年度中に基本協定などの締結をする。津波避難施設は、30年度に詳細設計、事業費の算出を行い、31年度の工事発注のための準備を進めていく。

問 ビーチパークのパーベキュー場設置の検討状況について伺う。

企画政策部長 ビーチパーク利用者に配慮した煙や臭いの対策など、課題解決に向けて検討している。

問 湘南ベルマーレのJ2

「湘南バンクメイ」インスタンドの活用

湘南ベルマーレのJ2

活用した新港背後地における多目的広場などの施設検討の内容を伺う。

企画政策部長 観光やレジャーの交流拠点としても位置付け、「ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジ」を推進し、漁業協同組合などと協議し、国の交付金を活用した多目的広場やトイレの規模や配置場所などの検討を進めていく。

問 新港アクセス道路の位置付けは重要である。国への働き掛けについて伺う。

都市整備部長 新港の背後地活性化には、高浜台交差点から直接アクセスできる道路が必要である。早期に整備ができるよう検討していきたい。



地域医療福祉拠点整備モデル(高村地区)

須藤 量久 議員

問 高村地区で取り組む整備事業のスケジュール、地区への周知・情報発信について伺う。

福祉部長 UR都市機構との連携協定締結後、庁内での協議を立ち上げ検討してきた。平成30年4月以降の早い時期に地元自治会など地域の意見を聞き、できる限り検討内容に反映し、年内には本市としての要望など

をまとめる。UR都市機構では、32年度に事業者の公募を行い、33年度から34年度にかけて医療福祉拠点の整備を行う予定である。また、自治会役員会への出席や説明会の開催などで周知しているという。計画づくりにおいては地域の実情を熟知している地元自治会、福祉活動団体や福祉施設などの参画が必

がんばる事業者への支援

問 本市の入札制度について29年3月議会での質問から変更した点を伺う。

副市長 総合評価方式のガイドラインを改正し、イク

などへの貸し出しについてどう考えているか。
公営事業部長 競輪を開催しない日にイベントなどで利用してもらうことを想定している。

ボス宣言企業へのインセンティブとして加算項目を新設した。受注機会の優位性の確保を支援している。
問 市内に本社・本店を有する企業に対して、しっかりとインセンティブをかけるべきではないか。
市長 市内業者を支援し、しっかりと仕事ができるエリアを作るため、基準などを検討し、どういう形で盛り込むかということも考え、対応していきたい。



金目地区の人口増対応について

黒部 栄三 議員

問 金目地区に新たに子どもの広場を設置するが、どのような計画か。

健康・こども部長 つどいの広場は、子育てに関する相談や育児情報の提供をするなど親子が気軽に集う場所として市内に4か所開設している。おおむね3歳未満の子供とその保護者を対象とするため、市内での低年齢児の保育実績などを考慮して事業者を募り、平成30年度中の開設を目指す。

問 地元では一日も早い開設を望んでいるがどうか。

健康・こども部長 30年度中に募集を行い、できるだけ早い開設を目指す。

問 金目保育園への入所希望者が増加しているが、対策を考えているのか。

健康・こども部長 保育士を確保し、施設についても

分園や小規模保育などを整備していきたい。一人でも多くの子供が入所できるように努力していく。

問 みずほ小学校の児童数の推移の見通しを伺う。

健康・こども部長 30年4月の児童数は、29年度から62人増加となり、546人と見込んでいる。今後とも程度の増加が数年続くと思

うが、その後減少に転じるかと考えている。

問 30年4月から新しく6教室の供用を開始するが、まだ不足している。今後の対応を伺う。

学校教育部長 児童数などが確定後、次の対策をスピード感をもって進める。

問 人口増加に対応した公共交通の充実について、地元住民の声を吸い上げながら検討すべきではないか。

のみならず、他の日常生活に着目し、できるだけ暮らしやすいまちを形成することは、非常に重要な観点であると考えている。このことから、地域のさまざまな人から意見を聞き、よりよいまちづくりができるよう検討していく。

このほかの質問 認知症総合施策の推進 シティプロモーションの推進(来街促進から定住促進 平塚の魅力発信(湘南平 囲碁のまちひらつか) 農業施策

住む人の年齢構成などを見ると、子育て世帯などを含むコミュニティの形成を図っていくことが必要となる。また、このことで今までの以上に地域に活力を生むものと考えている。こうしたコミュニティの形成が図られるよう、地域の住民やUR都市機構と検討を進めていきたい。

問 暮らしやすい地域にしていくため、総合的な地域のまちづくりが必要と考えるが、見解を伺う。

福祉部長 医療や福祉の面

交通政策担当部長 今後公表する地域公共交通導入の考え方を示しながら、地域とともに具体的に検討していきたい。

問 金目地区の人口が増加し、公民館や図書館、高齢者施設などのニーズも高くなる。複合施設などをつくる考えはあるか。

企画政策部長 公共施設等総合管理計画に施設の質的向上、新たな施設建設の抑制、床面積の総量縮減の三つの原則がある。これらの原則を確認しながら公共施設の再編を進める過程で検討していきたい。

このほかの質問 子ども自立生活支援センター「きらり」 中学校の部活動道路関係のワンストップ窓口 夜間の津波避難ビルへの避難 学校司書の充実

所属議員

清風クラブ



坂間 正昭 議員



諸伏 清児 議員



野崎 審也 議員



佐藤 貴子 議員